

# 東京バッハ合唱団 月報

[第 636 号] 2015 年 6 月号

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 5-17-21-101  
Tel: 03-3290-5731 Fax 専用: 03-3290-5732 郵便振替: 00190-3-47604  
Mail: office@bachchor-tokyo.jp http://bachchor-tokyo.jp/

BACH-CHOR, TOKYO

Monthly Newsletter No. 636

June 2015

5-17-21-101 Funabashi,  
Setagaya-ku, Tokyo

## めまぐるしい世界情勢のさなかに アイデアの溢れ出る合唱団のゆくえ

大村 恵美子 (主宰者)

創立 50 周年企画・バッハ 4 大作品連続演奏(全 5 回)が、

### 第 110 回定期演奏会

《ヨハネ受難曲》

2014 年 3 月 15 日(土)、13:30 開演、杉並公会堂をもって、大成功裡に完結したあと、翌 2015 年夏の 3.11 被災地公演を目指して早々と合唱団の心は強く傾斜していたのですが、本来のあり方として、まずその 2014 年内に、例年行なってきたクリスマス定演のことを考えねばならず、それが公表できたのは《ヨハネ》直前の月報 620 号(2014 年 2 月)紙上でのこと:

### 第 111 回定期演奏会

「被災地に贈る、バッハのクリスマス音楽の花束」

BWV 243a 挿入曲、BWV 97、BWV 62、BWV 36

2014 年 12 月 13 日(土)、19:00 開演

府中の森芸術劇場ウィーンホール

次いで 3.11 被災地公演の、懸案中の詳細がすっきりとまとまり、公表できたのが月報 627 号(2014 年 9 月)においてでした。

### 第 112 回定期演奏会

「3.11 被災地訪問演奏=福島県・南相馬公演」

2015 年 8 月 22 日(土)、13:30 開演

南相馬市民文化会館 (ゆめはっと大ホール)

それからひき続いて、月報 628 号(2014 年 10 月)では、創立 50 周年記念企画の数年間の、イレギュラーな公演サイクルが続いた合唱団の歩みを本来の姿に速く関連づけようと、「定期演奏会の今後——次々回、第 113 定演曲目の展望」を示し、つづく月報 629 号(2014 年 11 月)では、「3.11 被災地訪問演奏会の新年に臨んで——新刊紹介を兼ねた個人的願望——」で、現在の異様に沸騰するような世界情勢の激動のさなかに、いらいらと短絡するあまりの破壊や自死に陥る傾向を抑えるために、「われはここに立ちて歌う」(モテット 3 番第 5 曲)者として、文章を次のように結びました。

音楽の達人の先生から昔教え込まれたのですが、「自分の声に得意がらずに、ソプラノ一般、バス一般、……というものに溶け込もうとする」、こ

れが肩ひじ張らず生きてゆける極意だと、私は信じており、この著者<sup>(\*)</sup>にもそんな大らかさが感じられて、大いに楽な気持ちになれました。地球は滅びる、人類は消える、etc、短く限りある自分の人生で、納得できないことを気に病んで一日々々をおろそかにするよりも、自他ともに楽しいものごとに心傾けて、一日を満たしてゆきましょう。

\*) 加藤典洋氏。紹介著書『人類が永遠に続くのではないとしたら』(新潮社、2014 年 6 月刊)

さて、月報 631 号(2015 年 1 月)からは、毎号、第 112 定演(南相馬公演)の具体案・決定事項が次々と報告されてくるのですが、さらに第 113 定演のことも、重ねて加わりました(月報 632 号(2015 年 2 月))。

### 第 113 回定期演奏会

「日常生活のバッハ」

BWV 148、BWV 40、BWV 16、BWV 192

2016 年 5 月 28 日(土)、14:00 開演

府中の森芸術劇場ウィーンホール

じつは、ここまで来たいまの私は、大分ハイな状態に舞い上がっていて——というのも、南相馬の方々と現地でも何度かお会いして、被災以来すでに 4 年も経つ今でも多くの不条理に明るく耐えておられるご様子に、8 月 22 日の協演のための準備を完璧にと努力するかたわら、彼我両地にあって、安らぎを求める祈りに結ばれようとするのです。

こちらもまた、50 年余の足跡を残してきた合唱団のこれからの道筋をただし、すでに第 114 回定期演奏会の核になる曲目に、ちょっと際立つようなアイデアが浮かんでいるのですが、もう少し経つと、演奏会場と日取りまでもお知らせできることでしょうかから、今回はむしろ、半端な言及は避けておくことにいたします。どうぞお楽しみにお待ちください。

『東京バッハ合唱団 半世紀の歩み——創立 50 周年記念誌』出版について、たいへん多くの皆様からの暖かい反応をいただき、深く深く感謝申し上げます。

# 創立 50 周年記念誌 『東京バッハ合唱団 半世紀の歩み』

## | 反響 |

先月号月報紙面で、創立 50 周年記念誌『東京バッハ合唱団 半世紀の歩み』の発刊をご案内したところ、さっそくに多くの皆さまよりご注文をいただき、順次お手許へお届けしております。

また、ご執筆の方々をはじめ、長年お世話になった団友の先生方、多年にわたりご支援をお続けくださった後援会の方々へは、それぞれにご贈呈いたすべく、5 月初旬に発送させて頂きました。

お目通し賜った皆さまから、多くの反響をお寄せいただいておりますが、いくつかをご紹介させていただきます（到着順・敬称略）。

### 戸口 幸策（団友）

このたびは、『半世紀の歩み』の御恵贈にあずかりまして、ありがとうございます。皆様の合唱団は、大村恵美子さんが中心となって独自の活動を展開し続け、目に見えるだけでも、数々のすばらしい成果を上げてこられました。心から祝福いたします。記念誌は、折に触れて、あちこちページをめくることにします。今後とも、皆様の東京バッハ合唱団の一層の御発展をお祈りしております。心からの御礼までに。

[戸口幸策氏は、音楽学者、成城大学名誉教授。当合唱団と西武百貨店スタジオ 200 との共同企画「Bach 偉大にして永遠の挑戦——レクチャーとレコード演奏でつづる《マタイ受難曲》全 10 回（1981・82 年、85 年）の監修者]

### 鳥海 寮（団友）

本日『半世紀の歩み』が届きました。偉大な歴史の足跡を前に、若干緊張しながら読み進めております。ありがとうございます。

[鳥海 寮氏は、テノール独唱者・エヴァンゲリストとして、当合唱団の定期演奏会、特別演奏会などに数多く出演]

### 堀 甲子（後援会員）

みどりの日の朝、届きました。『半世紀の歩み』、りっぱな御本を御恵贈くださいます、ありがとうございます。厚く御礼申し上げます。輝かしい歴史を、ゆっくり拝読させていただきます。心からの感謝をもって。

[堀 甲子氏は、創立初期よりの継続後援会員]

### 川端 英子（団友・川端純四郎様御夫人）

このたびは、『半世紀の歩み』をご恵贈賜わり、誠にありがとうございます。南相馬公演のご案内もありがとうございます。日本語でのバッハ演奏にとっても関心があります。ご成功を心よりお祈り申し上げます。故純四郎の本を取り上げていただいた記事[p.173]も誠にありがたく拝見いたしました。

[故・川端純四郎氏は、神学者・オルガニスト・バッハ研究家。2013 年歿]

### 森野 善右衛門（団友）

復活の主の御名を讃美します。『半世紀の歩み』をご恵贈くださり、その半世紀になるご活躍の歩みに思いを馳せることができました。日本語によるバッハ合唱団のお働きには、特別な意味があることを思われます。どうぞこれからもお元気でよいお働きが続けられますよう、お祈りいたします。別に「月報」を通して多くの学びと交わりを与えられ、感謝です。

一筆御礼まで。主にあつて、再会の時をたのしみにしています。

[森野善右衛門氏は、神学者・牧師、東北学院大学名誉教授。当合唱団の定期公演に度々ご来聴]

### 南 吉衛（団友）

今般は、すばらしい『半世紀の歩み』をお送りくださり、心から御礼申しあげます。私にとって、人生の忘れられない日々が掲載されており、P.115 の自筆の文章はもちろんのこと、多くの写真も、懐かしく、嬉しく拝見させていただきました。加藤さんはじめ、編集委員の皆様の労に心から感謝いたします。

もちろん、半世紀もの長い間、大村恵美子さんが、健康にも恵まれ、この合唱団を指導して来られたことは、二度と繰り返すことのできない快挙であり、カイロス [神の時] です。

桑名にいたることが、じれったくなります。一日も早く、皆様の演奏に、再び耳を傾けることの出来る日が、来ることを、心から願っています。一人でも多くの方に行きわたるように、御本の代金をお納めいただきたくお送りします。

[南 吉衛氏は、日本基督教団桑名教会牧師。当合唱団の第 3 回以降のドイツ演奏旅行において、アンメ牧師のもとで現地受け入れの任に当たられ、また 2009 年シェットアウトガルト公演の開催に尽力された]

### 平原 恵子（後援会員）

若葉の薫る季節となりました。本日は、『半世紀の歩み』をお送りいただきまして、誠にありがとうございます。さっそく拝読させていただきます。幼稚園や小学生の方々の演奏後に書かれた文章に、気持ちをはかれました。こんな小さい方々を感動させているバッハの合唱曲はすごいですね。マタイ受難曲を

演奏しているこんな小さな方々にも、おどろいて居ります。また、恵美子先生の御活躍にも、頭が下がります。どうぞくれぐれも御自愛くださいませ、この夏もお元気で乗り切られますよう、心よりお祈り申しあげて居ります。

[平原恵子氏は、主宰者の高校・芸大楽理科の後輩。  
第1回ヨーロッパ演奏旅行にご夫妻で参加]

#### 石井 智恵子 (団友)

このたびは貴重な記録・資料の『半世紀の歩み』をお贈りいただき、ありがとうございます。一口に“半世紀”と云いませても、その積み重ねの中味の濃さと御努力に、敬服です。益々の御発展を心からお祈りいたします。

[石井智恵子氏は、元・プランタン銀座社長。当合唱団公演にたびたびご来聴、お励ましをいただく]

#### 高梨 公明 (団友)

『半世紀の歩み』拝受いたしました。50年の大きな蓄積の証言集ともいふべき力作ですね。東京バッハ合唱団の“重み”を実感しております。

何か「人生と音楽」のお手本のような営み、敬服するばかりです。毎回毎公演、ひとつの偉業を成し遂げた後のみなさまの笑顔を見るたびに、ほんとうに音楽の力を感じています。信念を貫き通すことの尊い意味を思い、勇気をいただいております。ありがとうございます。そして、おめでとうございます。

[高梨公明氏は、編集者。春秋社で数々のバッハ関連著作を上梓、『バッハ コラール・ハンドブック』も]

#### 坂田 和泉 (団友)

すっかり緑の美しい季節となりました。先日は記念誌をお送りいただきましてありがとうございます。懐かしい写真もあり、楽しみに読ませていただいております。また[5月号月報紙上]身延山の桜、さぞかし立派だったことでしょう。すてきな誕生日お祝い、ようございました。

8月の演奏会に向け、ますますお忙しいことと存じますが、どうぞお体御大切になさってくださいませ。

[坂田和泉氏は、ヴァイオリニスト。当合唱団公演のオーケストラでは長年コンサートマスターを務めている。南相馬公演にも同行参加]

#### 松原 典子 (元団員)

このたびは、東京バッハ合唱団創立50周年おめでとうございます。りっぱな記念誌をお送りいただきまして、有難うございました。相変わらず精力的な東京バッハ合唱団のご活躍、すばらしい限りでございます。84歳のお祝いのお花見旅行の先生の変られない、若々しいお姿にびっくりいたしました。

本を開くとバッハ合唱団のなつかしい方々のお名前

があり、バッハを先生に教えていただいていたことが私の宝物となっています。最初に教えていただいたのがマタイ受難曲で、CDでくり返し聞いて楽しんでおりました。(……)

東京バッハ合唱団と先生の益々の御活躍と御健康をお祈りいたします。

[松原典子氏は、南林間の女声コーラスで長年団員。当合唱団でもたびたび演奏会に参加]

#### 多田 逸郎 (団友)

石激垂見之上乃左和良妣乃毛要出春尔成來鴨<sup>(\*)</sup>。その春になり、今は全ての蕾が弾ける世にも美しき月の五月。その五月の佳き日に『東京バッハ合唱団半世紀の歩み』(創立50周年記念誌)の御惠送に與りました。大村様の偉大な足跡と業績に満腔の敬意を表しつつ御惠送のお心遣ひに厚く御禮申し上げます。

しかしながら、このやうな立派な記念誌を頂戴してしまふのは心苦しい限りです。失禮ながら、書籍のお代を同封致します。何卒お受取り下さい。大村様の御健康をお祈りし、東京バッハ合唱団の彌榮をお祝ひ申し上げます。

\*) 石走る垂水の上の早蕨の 萌え出づる春になりけるかも (萬葉集)。

[多田逸郎氏は、リコーダー奏者・指導者、古楽研究家。当団の初期公演にも参画]

#### 菅原 文子 (元団員・サポーター会員)

台風後の真夏日という暑さに、少し戸惑いを感じています。先日は、『半世紀の歩み』創立50周年誌をお届けいただき、ありがとうございます。内容の重い、りっぱな記念誌を編集され、お疲れ様でした。合唱団の人材の豊かさに感服です。

今週のFMラジオ“古典の楽しみ”で、モテットを聴いています。バッハに触れることが出来て、歌に、オルガンにと、広がることが出来ました。感謝です。

[菅原文子氏は、初期からの団員として活躍した後、長年後援会員を継続]

#### 森 延幸 (元団員・サポーター会員)

毎回の演奏会、ありがとうございます。さて、このたびはたいへんりっぱな『半世紀の歩み』をご惠贈いただき心より感謝申し上げます。あれから50年たつのかと思うと、感慨無量です。内容は、ゆっくりじっくり拝読させていただきます。どうぞこれからも、お身体御自愛のうえ益々のご活躍を祈念いたしております。

[森延幸氏は、初期の団員。その後、定演には欠かさずご来聴いただく]

#### 三谷 啓文 (後援会員)

『半世紀の歩み』をお送りくださり、ありがとうございます。すばらしい、偉大な記録ですね。毎日、毎

時、手にして拝読しております。どうぞご自愛のうえ、ご活躍をお続けくださるよう、祈念いたします。

[三谷啓文氏は、平和運動事務局スタッフ。数年来、当団公演にはほぼ毎回ご来聴]

#### 柳元 宏史 (団友・元団員)

この度は『半世紀の歩み』をご恵送くださいまして有難うございました。大村さんがこれまで月報に記してこられた、格調高く、またリズムとテンポの良さを感じる文章の数々、また写真がたくさん載せられていて、改めて大いに学ばされ、楽しく拝読いたしました。大村さんのお若い頃のお写真が何より新鮮でした。

多くの方々がバトンをつないで来た合唱団に私も加えていただいたことは、私の人生のキラキラとした宝であることを感じています。お働きと健康が守られますように。

[柳元宏史氏は、山口信愛教会牧師。当団在籍後、月報に「50 曲選」CDの作品解説を連載、好評を博す。後半 25 曲が残っていて楽しみである]

#### 百瀬 禮子 (後援会員)

『半世紀の歩み』の素晴らしいご本をお送りいただきまして、本当に有り難く感謝申し上げます。

先生の長い長いご苦勞とご尽力、B a c hへのあふれる愛、また皆様方の合唱団への愛がほとぼしる、珠玉のご本をいただきました。読みながら、涙があふれ、止まりませんでした。出席させていただいたコンサートの時の音楽が流れてまいります。こんなこと初めてです。

50 年の長い愛と祈りがそうさせているのではと思いました。本当に、本当に、有難うございました。毎日、少しずつ読ませていただきます。

[百瀬禮子氏は、日本ボンヘッファー研究会会員。当団公演にもたびたびご来聴]

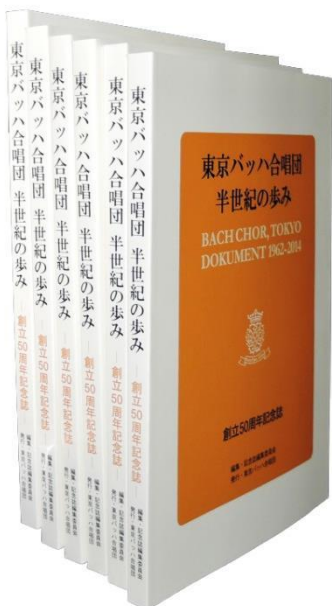
## 東京バッハ合唱団 半世紀の歩み ——創立 50 周年記念誌

・ B5 判/240 頁 ・ 頒価 2000 円  
・ 送料 350 円

半世紀の金字塔、手に取ってご覧ください。

創立 50 周年祝賀メッセージ、出演者の感懐、最近 10 年間の主なる月報記事再録、バッハ合唱団をとりまく人々 (大村恵美子記)、創立より 50 年間のフォトアルバム、全公演記録・演奏曲目一覧など。

売上げは、合唱団運営費に充当させていただきます。[残部僅少]



「月報」読者、団員の皆さま、

## 東京バッハ合唱団、夏の活動予定

・「月報」読者の皆さま、太字ゴシック字体は、一般公開・参加歓迎です。南相馬公演のプレコンサート、バザーと懇親会、公開リハーサル、報告コンサート。ぜひお出かけください (事務局へご一報ねがいます)。

・団員の皆さま、7 月は当団の年度初めに当たり、練習予定が不規則になりますのでご注意ください。とくに記述のない練習日 (土、月) は、通常どおりです。

8 月は、例年ですと夏季休暇となりますが、南相馬公演 (第 112 回定演) までは通常練習を行います。

9 月から、新規曲目 (113 定演) による練習が始まります。

### <7 月>

7/11 (土) 会場練習 15:30 - 17:30 (松原教会)

7/12 (日) プレコンサート@松原教会 (東京・世田谷)

リハーサル 13:00 - 13:30 (松原教会) ●同封チラシ参照  
開場 13:30、本番 14:00 - 16:00

7/18 (土) 新年度団員総会/バザー/懇親会

団員総会 15:30 - 16:30 (荻窪教会)

バザー 17:00 - 17:30 (〃) ●同封チラシ参照

創立 53 周年記念懇親会 18:00 - 20:00 (「さかなや道場」  
荻窪駅・南口商店街入り口・ドラッグセガミの 2 階)

7/20 (月) ◆祭日ですが、練習あり (本番が近いため)

### <8 月>

8/1 (土) - 8/17 (月)、〈通常練習〉

8/18 (火) リハーサル 18:00 - 21:00 (荻窪教会)

8/20 (木) リハーサル 18:00 - 21:00 (荻窪教会)

8/21 (金) 南相馬公演ツアー (1泊2日) 〈近日詳細〉

集合 (早朝)、現地着 (午後)、状況視察 (チャーターバスのまま)、交歓会 (17:00 - 18:30)、夕食、宿泊

8/22 (土) 第 112 回定期演奏会 (福島県・南相馬)

曲目 BWV92、BWV81、BWV227 (モテット)

ステージ練習 10:00 - 12:00 (ゆめはっと大ホール)

開場 13:00、本番 13:30 - 15:30

現地発 16:30、新宿着・解散 21:30 (予定)

8/24 (月) - 8/31 (月) 練習は〈夏季休暇〉

### <9 月>

9/26 (土) 報告コンサート@荻窪教会 (東京・杉並)

本番 14:00 - 16:00 (後日詳細)

坂田和泉 (Vn)、伊藤恵子 (Vc)、石川優歌 (Org)、

2016 年

### <来年>

5/28 (土) 第 113 回定期演奏会 (東京・府中)

開演 14:00 (府中の森芸術劇場ウィーンホール)

曲目 BWV148、BWV40、BWV16、BWV192

佐々木まり子 (A)、鏡貴之 (T)、山本悠尋 (B)

東京カンタータ室内管弦楽団 (Orch)、他